



No.58 (2016.10)

地域と結ぶ

順天堂大学練馬病院ニュース



地域の皆さまの
心と身体のおアシスで
ありたいと願っています。
何なりと
ご相談ください。

副院長のご挨拶

順天堂大学医学部附属練馬病院は開院して11年を過ぎました。当院では、開院当初より“患者さん中心の医療”を心がけ、患者さんからの信頼を得るべく最大限の努力を行ってきました。そのことにより、練馬区民をはじめ近隣の方々から大きな信頼を得られるようになりました。これは、職員全体のチームワークの良さとPatients firstをモットーにして、11年の間、「不断前進」の気概を持って医療活動を続けてきたことによると思います。



副院長
整形外科・スポーツ診療科 教授
野沢 雅彦

平成23年より当院は東京都より地域医療支援病院の指定を受けたことから、大学病院としての高度医療を提供するとともに、地域の医療機関との密接な連携がより重要になってきました。このため近隣の先生方が容易に当院に患者さんを紹介できるようなシステム作りに努力し、診断がついた患者さん、主な疾患の治療が終了した患者さんを積極的に逆紹介しています。

2020年の東京オリンピックをひかえ、国際化の波が当院にも及んでくることが予想されます。そのため、より高度で多様な医療のニーズに応えられるように病院の体質をさらに強化していく必要があると思います。

順天堂の学是であります“仁”の心を持ちながら、患者さんのお役に立てるように、病院の職員全員が、今後も努力してまいりますので宜しくご指導を頂けると幸いです。

新科長のご挨拶

7月から腎・高血圧内科科長に就任して参りました井尾浩章（いおひろあき）です。腎臓病・高血圧症・透析療法（血液透析・腹膜透析）に携わって19年になります。



腎・高血圧内科 科長
井尾 浩章

尿の異常（特にタンパク尿）、高血圧・糖尿病といった生活習慣病は、透析療法に至ってしまうような慢性腎臓病だけでなく心臓病（不整

脈・心筋梗塞など）や脳卒中発症の危険因子です。腎臓病は目立った自覚症状がないまま進行するため、早期に発見して必要な治療を行うことが大切です。健康診断での尿異常（血尿・タンパク尿）・血圧異常・尿酸値やクレアチニン値に異常がある方は是非とも一度、腎・高血圧内科にご相談ください。

私は心温まる医療・診察を実践しうる“良き臨床医”を目標とし、またその知識や技術を惜しみなく年下の者に与え引き継いでいきたいと思えます。単に医学知識を深めるだけではなく、患者さんに対して“もし自分の身内であったならどのような対応ができるのか”を念頭に、なおかつ冷静な判断のもとに最善を尽くす“良き臨床医”としての姿勢も大切にしていきたいと思えます。

少しでも多くの患者さんのお役に立つことができれば幸いです。腎臓病でお困りの際はどうぞお気軽にご相談ください。

練馬病院小児科での外来音楽療法

小児科 音楽療法士 市田 幸子

順天堂大学医学部附属練馬病院小児科では2012年より、ADHD（注意欠如多動性障害）、アスペルガー症候群、そしてその他の発達障がいのお子様を対象に外来「音楽療法」を月に1回のペースで実施しております。



市田 幸子

音楽療法とは心身の障がいの回復、機能の維持改善、生活の質の向上、行動の変容などを目的に、音楽を意図的計画的に活用して行う治療技法を言います。

近年、音楽療法が小児神経領域疾患の機能回復（改善）に有用であるとの報告も見られます。

音楽の持つ特性（テンポ・リズム・メロディ）を利用して、生活をしやすくし、学校での活動に反映できるように導いています。

音楽療法は単に音楽を聴くのではなく、楽器を自らが鳴らしたり、音楽に合わせて身体を動かしたりしながら、楽しく行う療法です。子どもたちは毎月楽しみに通い、親御さんからは大きな信頼を得て個人セッションまたはグループセッションを継続しています。



グループセッションの様子

子どもの内股・O脚・X脚について

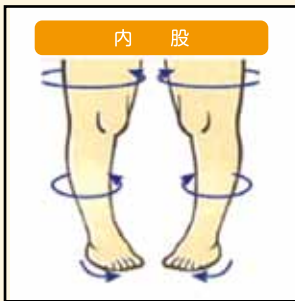
順天堂大学小児科学教室非常勤助教
アイレッククリニック院長

金 成彌

☆内股・O脚・X脚はどのような脚ですか？

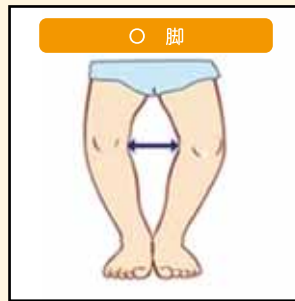
【内股】

走ったり歩いたり立っているときに膝や足先が内側を向いてしまう脚です。



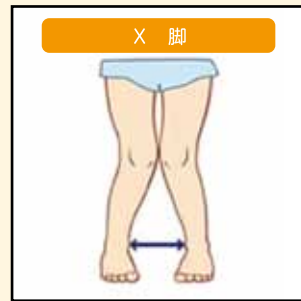
【O脚】

左右の内側のくるぶしを付けた時に膝の間が開いてしまう脚です。



【X脚】

左右の膝を付けた時にくるぶしの間が開いてしまう脚です。



☆どのような場合に病院を受診しますか？

【内股】膝が正面を向いているのに3歳を過ぎても足先が内側を向いている場合（脛骨内捻）。膝が8歳過ぎても内側に向いている場合（大腿骨過前捻）。

【O脚】膝の間の距離が約5cm（指3本分）以上離れている場合や徐々に間が開いてきている場合。

【X脚】くるぶしの間が約10cm（指5本以上）以上離れている場合や徐々に間が開いてきている場合。

☆どのような治療をしますか？

まず原因となっている病気があるかどうかを調べます。病気がない場合は悪い姿勢習慣によって筋肉や靭帯・骨等のバランスや位置に問題がある事が大半ですので、生活指導、ストレッチ指導、運動指導、必要であれば矯正治療を行います。骨自体に問題がある場合は手術をする場合があります。

お困りの際は整形外科・スポーツ診療科 小児整形専門外来にご相談ください。（問い合わせ先：整形外科・スポーツ診療科外来 03-5923-3111 9時～16時）

C-cube(シーキューブ)プロジェクト 看護部

子どもたちの夏休み期間中8月13日(土)に、当院で8回目の病院体験イベントを行いました。

この催しは「C-cube プロジェクト」と題する活動で、練馬区内(Community)の子どもたち(Children)との交流(Communication)を深め、地域に根ざした病院になることを目指しています。



聴診器を使って引率看護師の心音を聞いています。



検査室の顕微鏡で血液の細胞を見えています。



赤ちゃんの沐浴と着がえをやってみました。



病院地下の免震構造について見学しました。



栄養部で食事の準備を見学しました。



手術室に入って体験です!

当日は、練馬区内の小学生 29 名が参加しました。普段は見られない病院建物の地下で免震構造を見学し、実際に聴診器を用いて心音を聞いたり、検査室で顕微鏡をのぞいたり、様々な医療体験に挑戦しました。

5~6人のグループ行動でしたが、自然とグループリーダーの役割を担う子どもさんが中心となり、栄養士さんや検査技師さんにも積極的に質問して、楽しく取り組んでいました。

体験の最後で「大きくなったら病院で働いてみたい?」の質問に、多くの子どもたちから手が上がり、とても頼もしく感じられました。これからも「C-cube プロジェクト」活動への応援をよろしくお願いいたします。

(看護部 根岸 万里子)

癒しのコンサート開催

7月2日（土）に、武蔵野音楽大学の方をお招きし、クラシックの名曲を中心に全11曲、1時間にわたり演奏していただきました。入院中の患者さんを含め90名以上の方にご参加いただきました。



7月16日（土）に、当院消化器内科 川邊医師の紹介で櫻井美奈様、櫻井香奈様に演奏いただきました。

クラシックの名曲を、連弾で演奏される姿に、多くの患者さんが楽しんでいただけました。



（総務課 戸崎 雄太）

院内写真コンテスト

当院では以前から患者さんやご家族の癒しになるよう、院内に写真を掲示しておりますが、去る7月4日（月）に教職員が、力作を持ち寄りコンテストを開催しました。なお、受賞作品は既に院内に掲示されております！是非ご覧ください。



【金賞】

新潟長岡の花火

日本三大花火
「秋田・大曲」「茨城・土浦」「新潟・長岡」の1つ！一度は見に行く価値あり。

（地域医療連携室 室岡 嘉之）

練馬区より感謝状を頂戴しました。



当院では、平成17年の開院当初から、練馬区民の方々の健康増進、医療知識の向上に貢献するため、区民健康医学講座を実施してまいりました。

このたび、4月をもって、通算100回を達成し、練馬区より感謝状を頂戴いたしました。今後も地域の皆さまの健康のため、定期的に区民健康医学講座を開催してまいります。どうか奮ってご参加ください。

(院長 児島 邦明)

皆さまへお願い

- ・ **31日以上長期処方**の安定した患者さんは、出来るだけかかりつけ医での処方をお願いいたします。
- ・ 「くすりはリスク」。7剤以上の多剤処方は出来るだけ少なくいたします。



皆さまのご理解とご協力をお願い致します。

なお、ご旅行や年末年始などで31日以上処方が必要な場合には、遠慮なく主治医までお申し出ください。



Airway
Breathin
Circulat

順天堂大学医学部附属練馬病院 院長

